

七月読み取りおけいこ（高）④

名前（ ）

夏の山はくつきりと青くてきれいですよね。京都の山はいつどうやってできたのかお話ししましょう。

といつても、広いのでひとことでは語れないのですが、いくつか紹介しますね。

北山のハイキングコースのあちこちに、まるい枕のような石がころころしています。これは「枕状溶岩」というもので、約二億七千万年前にそこに海底火山があつた証拠なのです。噴火後すぐ海水につかるので冷やされてコロンと丸い形になります。

鞍馬山の石灰岩は約二億六千万年前のサンゴの化石を含みます。

右京区のコノドントという生き物の化石は約三億三千万年前のものです。鳴滝砥石の中によく入っています。

学校の中庭でも拾える石、チャートは放散虫というランクトンの化石ですが、これは約二億～二億四千万年ほど前のものです。

これらのことから言えることは、京都の山は昔海だったということです。一億数千万年前まで浅い海だったのがだんだん持ち上がり、ずれたりまがつたり折り重なつたりしながら陸になつたのです。

大文字山ではホルンフェルスという固い石を見ることができます。地表近くまで溶岩が上がつてきていたのでその熱で砂岩や泥岩が固まつたものです。

また、約百万年～四十万年前は氷河がとけて桂や嵯峨あたりまで海水が来ていました。このころ京都にゾウもいたんですよ。深草からゾウの化石が見つかっているのです。もつと知りたくなつた人は、科学センターに行くといいますよ。音読サイン→

①何の話ですか？（ ）

②枕状溶岩は何があつた証拠ですか？（ ）

③なぜ枕のようになるのですか？（ ）

④鞍馬山から見つかるは何の化石ですか？（ ）

⑤ホルンフェルスは何が固まつたものですか？（ ）

⑥コノドントは何の中に入っていますか？（ ）

⑦上の話に何種類の化石の話が載っていますか？（ ）

⑧昔京都を歩いていた今はいない動物は？（ ）

⑨あつてているものに○をつけましょう。（ ）

（ ）チャートという石は放散虫の化石だ。

（ ）鳴滝砥石はコノドントの中に入つている。

（ ）ハイキングで溶岩をふんでしまうかもしれません。

⑩上の文の感想を五行でかきましょう。（ ）

できばえは？

